

戦略 2 次世代「やまなし」投資戦略

「山梨県総合計画」 政策別実施状況

戦略	2	次世代「やまなし」投資戦略
----	---	---------------

政策	1	一人ひとりの個性を生かした教育の推進	計画掲載施策数 (再掲は除く。)	13
<p>【政策の基本的な考え方】</p> <p>家庭の経済環境などによる教育格差を生じさせることなく、一人ひとりに向き合ったきめ細かで質の高い教育を実現するためには、教員の資質向上を図るとともに、教員がきちんと子どもと向き合うための時間を確保し、よりきめ細かな指導を行っていく必要があります。</p> <p>このため、学校教育における教員の負担軽減や相談支援体制の強化とあわせて、公立の小中学校における少人数教育の計画的、段階的導入により、教育環境の充実を図り、一人ひとりに向き合った、きめ細かで質の高い教育を受けることができる環境の実現を図ります。</p> <p>また、幼児期は成長の土台を作る貴重な時期であることから、小学校就学前から、本県の豊かな自然環境を生かした活動などを通じて、子どもたちの知的好奇心や感性を育む幼児教育の充実を図ります。</p>				
		項 目	頁	担当部局
令和元年度の主な取り組み状況		○ 知事と教育委員会の連携による教育行政の推進	P.41	県民生活部
		○ 25人を基本とする少人数教育の推進	P.41	教育委員会
		○ 学力向上に向けた取り組みの推進	P.41	教育委員会
		○ いじめ対策・不登校支援のための体制整備	P.42	教育委員会
		○ 学校における働き方改革の推進	P.42	教育委員会
		○ ICTを活用した人材育成	P.42	教育委員会
		○ グローバル人材の育成	P.43	教育委員会
		○ 公立高等学校等の就学支援	P.43	教育委員会
		○ 魅力ある高校づくりの推進	P.43	教育委員会
		○ 一人ひとりに応じた特別支援教育の推進	P.44	教育委員会
		○ 私立学校の振興	P.44	県民生活部
		○ 自然保育の導入の促進	P.45	子育て支援局
		○ 次代のやまなしを支える人材の育成	P.45	県民生活部 外
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		6,713 百万円	
	前年度までの事業費		— 百万円	
	本年度の事業費		6,713 百万円	

成果指標の達成状況	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	「全国学力・学習状況調査」の全国平均正答数との比較割合	99.6% (H30)	100%超 (R 4)	99.7% (R 1)	25.0
	いじめ解消率	小中学校 99.1% 高等学校 95.4% (H29)	小中学校 99.4% 高等学校 98.2% (R 4)	小中学校 99.2% 高等学校 97.7% (H30)	小中学校 33.3 高等学校 82.1
	月当たり正規の勤務時間を80時間以上超過する教育職員の割合	32.5% (H29)	0.0% (R 4)	33.4% (R 1)	△ 2.8
	高等学校卒業段階でCEFR A2レベル相当以上を達成する生徒の割合	37.3% (H30)	42.0% (R 4)	44.7% (R 1)	157.4
	自然保育の活動量が増えた保育所等の数	—	100園 (H31比)	1園 (R 1)	1.0
	高校生・大学生(大学院含む)の海外留学への支援及び若手研究者への研究支援の人数	計27人 (H30)	H30と同程度を維持 (R 4)	計23人 (R 1)	—

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
知事と教育委員会の連携による教育行政の推進 【私学・科学振興課】	———	知事と教育委員会が、本県の教育についてのあるべき姿を共有し、連携して取り組んだ。 これにより、一人ひとりに向き合ったきめ細かで質の高い教育行政の推進に寄与した。 ・総合教育会議の開催 3回 ・「山梨県教育大綱」の策定 令和元年6月
25人を基本とする少人数教育の推進 【教：総務課】 【義務教育課】	教育指導費 (536) 522	一層きめ細かで質の高い教育を実現するため、学校関係者等による検討を経て、計画的・段階的に25人を基本とする少人数教育の推進を図った。 これにより、令和3年度に小学校1年生へ25人学級を導入することとした。 ・少人数教育推進検討委員会の開催 5回
学力向上に向けた取り組みの推進 【義務教育課】	教育指導費 (16,061) 14,820	全国学力・学習状況調査等で得られた課題や成果を踏まえ、教員の授業力を高める取り組みや、家庭学習の確保及び地域連携の推進に努めた。 これにより、教育指導の充実が図られ、児童生徒の学力の向上につながった。 ・令和元年度「全国学力・学習状況調査」の全国平均正答数との比較割合 99.7% ・山梨県学力把握調査(対象 中学校2年生(国・数・英)) 平成31年4月 ・授業力養成講座の実施 12回 ・実用英語検定を受検する中学生に対して受検料の助成を行う市町村(組合)教育委員会への補助 ・児童生徒及び保護者が家庭学習の必要性を理解し、習慣化を推進するための資料の作成・配布

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
いじめ対策・不登校支援のための体制整備 【義務教育課】 【高校教育課】	教育指導費 (134,966) 132,974	<p>各学校におけるいじめ・不登校の実態に応じたよりきめ細やかな対策を行うため、スクールカウンセラーの配置を拡充するとともに、市町村と連携した不登校支援のための環境づくりを進めた。</p> <p>これにより、教育相談体制の充実が図られ、いじめの解消や不登校児童生徒へのきめ細やかな支援につながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村不登校担当者会議の開催 2回 ・教育支援センター（適応指導教室）設置推進会議の開催 3回 ・スクールカウンセラーを配置 小学校 75校 全中学校 80校 高等学校 6校
学校における働き方改革の推進 【教：総務課】 【保健体育課】 【義務教育課】 【高校教育課】 【高校改革・特別支援教育課】	教育指導費 (9,835) 9,411 体育振興費 (8,960) 6,394	<p>教員の業務改善及び負担軽減のため、「教員の多忙化改善に向けた取組方針」や「部活動ガイドライン」等に基づく取り組みを推進した。</p> <p>これにより、教員の勤務実態が把握され、業務改善及び負担軽減に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山梨県立学校の教育職員の在校等時間の上限等に関する方針」の策定 ・教員の多忙化対策検討委員会の開催 2回 ・業務改善に係る検討ワーキングの開催 2回 ・部活動の負担軽減に係る検討ワーキングの開催 2回 ・校務支援システムの構築
ICTを活用した人材育成 【高校教育課】	教育指導費 (706,209) 348,344 [323,133]	<p>Society 5.0時代を生きる力を育むため、山梨県立学校ICT活用教育推進ビジョン（仮称）の策定に向け検討を行うとともに、教員の研修や環境の整備を進めた。</p> <p>これにより、ICTを活用した教育に向けた環境の整備に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立学校を結ぶ教育情報ネットワークの整備

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
グローバル人材の育成 【高校教育課】	教育指導費 (11,095) 9,197	<p>国際的に活躍できるグローバル人材を育成するために、小中学校と外国語教育や国際理解教育の連携を図り、学びを接続させるとともに、外国語によるコミュニケーション能力、幅広い教養、問題解決能力等の国際的素養、異文化理解の精神を県立高校生に身に付けさせる取り組みを推進した。</p> <p>これにより、県立高校生の国際バカロレア資格取得への道が開かれるとともに、外国語担当教員の指導力等向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語指導力向上に資する研修 3回 ・ALT指導力等向上に資する研修 令和元年9月 ・小中高外国語教育連携研修 令和元年8月 ・国際バカロレア*(IB)認定校 1校 ・県立高校生のアイオワ州への短期留学派遣 20人
公立高等学校等の就学支援 【高校教育課】 【高校改革・特別支援教育課】	諸 費 (2,028,659) 1,956,751	<p>公立高等学校や特別支援学校に通う生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、就学に要する経費等に対して支援を行った。</p> <p>これにより、生徒が安心して就学できる環境の整備が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学支援金等による教育のための支援 <ul style="list-style-type: none"> 就学支援金(学び直しを含む) 14,909人 山梨県高等学校奨学給付金 1,542人 低所得世帯への県立高等学校の入学料の減免 199人 入学サポート事業による支援 376人 特別支援教育就学奨励費補助 887人
魅力ある高校づくりの推進 【高校教育課】 【高校改革・特別支援教育課】	教 育 費 (455) 182	<p>外国籍生徒の受け入れや不登校生徒等の高校進学対策、地域における学校のあり方、コミュニティスクール制度の導入などについて検討を行い、「県立高等学校長期構想2020」を策定・実施した。</p> <p>これにより、魅力ある高校づくりの推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「県立高等学校長期構想2020」の策定 令和2年3月 ・県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則を制定 令和2年2月

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果																																
一人ひとりに応じた特別支援教育の推進 【高校改革・特別支援教育課】	諸 費 (443) 349	<p>児童生徒一人ひとりの障害の状態やニーズに応じて、その可能性を最大限に伸ばすことができる切れ目のない多様な学びの場を整備するため、「やまなし特別支援教育推進プラン 2020」を策定・実施した。</p> <p>・「やまなし特別支援教育推進プラン 2020」の策定 令和2年3月</p>																																
私立学校の振興 【私学・科学振興課】	私学振興費 (4,243,497) 4,201,549	<p>特色ある教育を行う私立学校に対し、必要な支援を行うとともに、高等学校のほか、専修学校においても保護者等の経済的負担を軽減し、生徒等が安心して就学等できるよう支援した。</p> <p>これにより、私立学校の教育条件の維持向上・学校運営の安定化及び高等学校・専修学校の生徒等に係る教育の機会均等に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立学校の運営費への補助 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>小・中・高</td> <td style="text-align: right;">21校</td> </tr> <tr> <td>専修学校</td> <td style="text-align: right;">7校</td> </tr> <tr> <td>各種学校</td> <td style="text-align: right;">1校</td> </tr> </table> ・私立高等学校等が行う授業料の減免への補助 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>高等学校</td> <td style="text-align: right;">9校 255人</td> </tr> <tr> <td>専修学校</td> <td style="text-align: right;">1校 4人</td> </tr> </table> ・私立学校が行う被災児童等の授業料等の減免への補助 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>高等学校</td> <td style="text-align: right;">1校 2人</td> </tr> </table> ・私立高等学校等就学支援金の交付 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>高等学校</td> <td style="text-align: right;">15校 7,144人</td> </tr> <tr> <td>専修学校</td> <td style="text-align: right;">1校 6人</td> </tr> </table> ・私立高等学校奨学給付金の交付 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>高等学校〔県内〕</td> <td style="text-align: right;">15校 543人</td> </tr> <tr> <td>〔県外〕</td> <td style="text-align: right;">30校 89人</td> </tr> <tr> <td>専修学校〔県内〕</td> <td style="text-align: right;">1校 3人</td> </tr> <tr> <td>〔県外〕</td> <td style="text-align: right;">3校 4人</td> </tr> </table> ・私立高等学校等学び直し支援金の交付 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>高等学校</td> <td style="text-align: right;">3校 13人</td> </tr> <tr> <td>専修学校</td> <td style="text-align: right;">1校 1人</td> </tr> </table> ・私立高等学校入学準備サポート事業給付金の交付 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>高等学校〔県内〕</td> <td style="text-align: right;">15校 171人</td> </tr> <tr> <td>〔県外〕</td> <td style="text-align: right;">6校 14人</td> </tr> </table> 	小・中・高	21校	専修学校	7校	各種学校	1校	高等学校	9校 255人	専修学校	1校 4人	高等学校	1校 2人	高等学校	15校 7,144人	専修学校	1校 6人	高等学校〔県内〕	15校 543人	〔県外〕	30校 89人	専修学校〔県内〕	1校 3人	〔県外〕	3校 4人	高等学校	3校 13人	専修学校	1校 1人	高等学校〔県内〕	15校 171人	〔県外〕	6校 14人
小・中・高	21校																																	
専修学校	7校																																	
各種学校	1校																																	
高等学校	9校 255人																																	
専修学校	1校 4人																																	
高等学校	1校 2人																																	
高等学校	15校 7,144人																																	
専修学校	1校 6人																																	
高等学校〔県内〕	15校 543人																																	
〔県外〕	30校 89人																																	
専修学校〔県内〕	1校 3人																																	
〔県外〕	3校 4人																																	
高等学校	3校 13人																																	
専修学校	1校 1人																																	
高等学校〔県内〕	15校 171人																																	
〔県外〕	6校 14人																																	

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
自然保育の導入の 促進 【子育て政策課】	児童福祉総務費 (15,173) 13,638	<p>自然保育の導入を推進するため、人材育成や普及啓発、表彰等を行った。</p> <p>また、自然保育の拠点として活用できるよう、愛宕山こどもの国の再整備に向けた基本計画を策定した。</p> <p>これにより、自然体験活動に対する保護者の関心・理解の深まりや、保育・教育関係者の資質向上、自然の中で健康な身体と豊かな情操を育む拠点整備の推進などが図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなし自然保育リーフレットの作成 5,000 部 ・やまなし自然保育活動事例集の作成 1,000 部 ・自然保育導入推進アドバイザーの派遣 令和元年 12 月 ・自然保育活動表彰(知事表彰)の実施 令和 2 年 1 月 5 園 ・やまなし自然保育シンポジウムの開催 令和 2 年 1 月 参加者 160 人 ・「愛宕山こどもの国等再整備基本計画」の策定 令和 2 年 3 月
次代のやまなしを 支える人材の育成 【私学・科学振興課】 【義務教育課】 【高校教育課】	企 画 総 務 費 (20,536) 19,038 教 育 指 導 費 (410) 199	<p>次代のやまなしを支える人材育成を図るため、「山梨県大村智人材育成基金」を活用し、中高生の優秀な研究等を表彰するとともに、若者の海外留学や若手研究者の研究環境の充実などに向けた取り組みを支援した。</p> <p>これにより、グローバルな視野、高度な知識・技術などをもつ若者や若手研究者の育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の海外留学に対する支援 14 人 ・若者海外留学事前説明会の開催 令和元年 7 月 ・若者海外留学成果発表会の開催 令和元年 10 月 ・若手研究者の研究活動に対する支援 9 人 ・若手研究者奨励事業成果報告会の開催 令和元年 11 月 ・大村智自然科学賞表彰 中学生 1 人 高校生 1 人

「山梨県総合計画」 政策別実施状況

戦略	2	次世代「やまなし」投資戦略
----	---	---------------

政策	2	産業を支える人材の育成・確保	計画掲載施策数 (再掲は除く。)	9
<p>【政策の基本的な考え方】</p> <p>産業構造が大きく変化する中で、求められる人材は大きく変化しており、それに対応した人材育成を図るとともに、若者の県外への流出を防ぎ、県内への定着を図るために、県内企業への就職を促していく必要があります。</p> <p>このため、既存の産業人材育成のための教育機関等を十分に活用する中で、産業界との連携などにより、地域の産業に求められる技術等を習得する機会を提供し、地元で活躍する人材の育成を進めるとともに、山梨で働く魅力を周知し、県外ではなく県内で就職することや、U I ターンを促すことなどにより、必要な人材の確保を図ります。</p>				
令和元年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局
	○ キャリア教育の充実		P.49	教育委員会
	○ 産業人材の育成に向けた高校教育の充実		P.49	教育委員会
	○ 県立大学における県内産業界を支える人材育成		P.49	県民生活部
	○ U I ターン就職の促進		P.50	産業労働部 外
	○ 技術系人材の育成・確保		P.50	産業労働部 外
	○ 情報通信業を支える I C T 人材の確保・育成		P.51	総務部
	○ 農業の多様な担い手の確保・育成		P.51	農政部
	○ 林業の担い手の確保・育成		P.52	森林環境部
	○ 建設業の担い手の確保・育成		P.52	県土整備部
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		2,216 百万円	
	前年度までの事業費		一 百万円	
	本年度の事業費		2,216 百万円	

成果指標の達成状況	成果指標	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	キャリア・パスポートを活用している県立高校の割合	0% (H30)	100% (R 4)	0% (R 1)	0.0
	専攻科第1期卒業生の県内企業への就職率	—	100% (R 4)	—	—
	県立大学卒業生の県内就職率	50% (H30)	50%以上 (R 3)	40.7% (R 1)	—
	県出身学生等(新卒者)のUターン就職率	26.5% (H30)	30.0% (R 4)	26.0% (R 1)	△ 14.3
	産業技術短期大学校、峡南高等技術専門校、宝石美術専門学校の定員充足率	83.3% (H31)	88% (R 4)	74.8% (R 2)	△ 180.9
	県事業によるインターンシップ受入企業数	10社 (H30)	15社 (R 4)	12社 (R 1)	40.0
	新規就農者数	303人/年 (H30)	340人/年 (R 4)	307人/年 (R 1)	10.8
	林業への新規就業者数	41人/年 (H30)	50人/年 (R 4)	39人/年 (R 1)	△ 22.2

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
キャリア教育の充実 【高校教育課】	教 育 指 導 費 (13,500) 11,986	自己を理解し自ら学ぼうとする力、郷土への理解を深め他者と協働し積極的に社会を形成する力、多様な課題に主体的に対応する力、具体的なビジョンに基づくキャリアプランニング能力を育成するため、体系的・系統的なキャリア教育の実施、キャリア・パスポートの活用等を推進した。 これにより、生徒のキャリア形成に寄与した。 ・体験型学習プログラムの実施 29校 161件 ・キャリアパスポートの手引き作成
産業人材の育成に向けた高校教育の充実 【学校施設課】 【高校教育課】 【高校改革・特別支援教育課】	学 校 建 設 費 (1,343,341) 1,293,819 全 日 制 高 等 学 校 管 理 費 (18,477) 17,776 教 育 指 導 費 (7,214) 6,527 教 育 費 (389) 271	地元就職する人材を育成するため、高校における新たな職業教育のあり方について検討するとともに、機械電子産業界等との連携を強化し、工業系高校生の技術力を向上させることなどにより、生徒の地域産業の魅力に対する理解を深め、本県の産業発展のために活躍できる人材を輩出した。 これにより、産業人材の育成に寄与した。 ・甲府工業高校に高度な専門教育を行う専攻科整備 ・工業系高校2、3年生の技能検定等国家資格取得の延べ人数割合 93.7% ・工業系高校生の就職内定率 100%
県立大学における県内産業界を支える人材育成 【私学・科学振興課】	———	県立大学から観光産業などの県内産業、福祉・教育・看護分野などへ優秀な人材を輩出するため、県立大学が実施する「Mirai プロジェクト」などの県内就職率の向上に向けた取り組みを支援した。 これにより、県立大学生の県内産業等への関心を高めるとともに、県内産業界を支える人材の育成に寄与した。 ・県立大学卒業生の県内就職率 40.7%

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
U I ターン就職の 促進 【労政雇用課】 【地域創生・人口対策課】	雇 用 対 策 費 (25,618) 20,741	<p>県内の産業活動を支える人材を確保するため、やまなし暮らし支援センター及びやまなしU I ターン就職支援センターにおいて就職支援を行うとともに、県内企業や学校等との連携により、U I ターン就職につながる機会の拡大を図った。</p> <p>これにより、定住人口の確保及び県内企業が必要とする人材の確保に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなし暮らし支援センター及びやまなしU I ターン就職支援センターにおける就職相談件数 1,392 件 ・U I ターン就職促進協定校と連携した座談会の開催 2回 参加学生 61 人
技術系人材の確 保・育成 【産業人材育成課】 【産業振興課】	職業能力開発振興費 (11,426) 11,008 職業能力開発総務費 (7,550) 7,277 宝石美術専門学校費 (60,792) 58,996	<p>本県産業を支える技術系人材を育成・確保するため、産学官が連携して策定するアクションプランに基づく取り組みの推進や産業技術短期大学校、峡南高等技術専門学校、宝石美術専門学校における人材育成の充実を図るとともに、機械電子産業関連企業に就職する大学生等の奨学金の返還や産業技術短期大学校等への就学を支援した。</p> <p>これにより、技術系人材の育成を推進し、本県産業への人材供給に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「技術系人材の確保・育成対策アクションプラン」(令和元年度～3年度)の策定 令和元年8月 ・県内機械電子産業就職者への奨学金返還支援 認定者 27 人 ・産業技術短期大学校等の学生への就学給付金支給 20 人 ・産業技術短期大学校等の入学料減免制度の創設 令和元年10月 ・学校運営連絡会議・学校関係者評価委員会の開催 (宝石美術専門学校) 5回 ・県内企業インターンシップの実施(宝石美術専門学校) 参加者 32 人 ・県内企業インターンシップ新規受け入れ企業 (宝石美術専門学校) 5社

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
情報通信業を支えるICT人材の確保・育成 【情報政策課】	情報管理費 (354) 354	<p>インターンシップの実施により県内ICT企業の魅力を伝える機会を提供するなど、産学官が連携してICT人材の育成に取り組んだ。</p> <p>これにより、県内大学等に在学する学生の県内就職の促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの実施 参加学生 47人 受入企業 12社 ・企業ガイダンスの開催 参加学生 71人 参加企業 16社
農業の多様な担い手の確保・育成 【担い手・農地対策課】 【畜産課】 【耕地課】	農業改良普及費 (194,267) 183,261 土地改良費 (1,527,313) 591,786 [888,449]	<p>本県農業の維持・発展に向け、多様な担い手を確保・育成するため、県内外での就農相談会の開催、就農希望者への技術習得研修の実施、更に基盤及び施設整備支援等による企業の農業参入を促進した。</p> <p>これにより、就農希望者には農業に取り組むイメージを描くことや栽培技術の習得が、企業には要望に合った農地の大区画化による農業参入の促進が図られ、農業の多様な担い手の確保・育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就農支援マネージャー設置 2人 ・就農相談会開催 <ul style="list-style-type: none"> 県内 4回 県外 9回 ・農業次世代人材投資資金(準備型)の交付 12人 ・就農定着支援制度推進事業による研修者 17人 ・参入企業数 10社 ・企業の農業参入に向けた基盤整備 南アルプス西部地区 外2地区

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果												
林業の担い手の確保・育成 【みどり自然課】 【林業振興課】	緑のふるさと推進事業費 (2,100) 1,966 林業振興指導費 (9,563) 8,616	<p>林業経営の効率化と適正な森林の管理を一体的に促進するため、経営セミナーの開催などにより意欲と能力のある林業経営体を育成するとともに、技術研修会の開催や人材育成のあり方の検討などを行った。</p> <p>また、次代を担う子どもたちが森林の役割や木の魅力等に関する理解を深めるため、森林環境教育指導者向けマニュアルの作成や、森林体験活動に取り組む教育機関等への支援を行った。</p> <p>これにより、林業の担い手の確保・育成や子どもたちの森林・林業に関する理解の促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就業者の確保 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>新規就業者数</td> <td style="text-align: right;">39人</td> </tr> <tr> <td>森林林業体験ツアーの開催</td> <td style="text-align: right;">2回</td> </tr> <tr> <td>インターンシップの実施</td> <td style="text-align: right;">参加者8人</td> </tr> </table> ・林業経営体の育成 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>現場管理責任者育成研修の実施</td> <td style="text-align: right;">11日間</td> </tr> <tr> <td>経営セミナーの開催</td> <td style="text-align: right;">2回</td> </tr> <tr> <td>意欲と能力のある林業経営体の認定</td> <td style="text-align: right;">11件</td> </tr> </table> ・林業の担い手あり方検討委員会の開催 5回 ・森林環境教育マニュアルの発刊 1,000部 ・森林体験活動への取り組みへの支援 12教育機関 	新規就業者数	39人	森林林業体験ツアーの開催	2回	インターンシップの実施	参加者8人	現場管理責任者育成研修の実施	11日間	経営セミナーの開催	2回	意欲と能力のある林業経営体の認定	11件
新規就業者数	39人													
森林林業体験ツアーの開催	2回													
インターンシップの実施	参加者8人													
現場管理責任者育成研修の実施	11日間													
経営セミナーの開催	2回													
意欲と能力のある林業経営体の認定	11件													
建設業の担い手の確保・育成 【建設業対策室】 【技術管理課】	建設業指導監督費 (2,159) 1,959	<p>「地域の守り手」としての役割が期待される建設業の持続的な発展のため、建設業関係団体等と連携し、有識者等による会議や高校生の建設業への入職を促進する事業を実施した。</p> <p>これにより、建設業の担い手確保・育成や生産性向上等に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明日の建設産業を考える山梨会議の開催 3回 ・インターンシップの実施 参加者71人 ・技術検定試験準備講習会の実施 参加者120人 ・ICTを活用した試行工事の実施 11件 ・建設業相談窓口での相談受付 45件 												

「山梨県総合計画」政策別実施状況

戦略	2	次世代「やまなし」投資戦略
----	---	---------------

政策	3	文化芸術やスポーツの振興による可能性の発揮	計画掲載施策数 (再掲は除く。)	5	
<p>【政策の基本的な考え方】</p> <p>子どもたちがこれからの時代を「生きる力」を育むためには、バランスのとれた知・徳・体の育成が必要です。また、生涯を通じて、文化芸術やスポーツにふれあい親しむ機会があることで人生が豊かになり、地域の活性化にもつながります。</p> <p>このため、学校教育での取り組みに加え、文化芸術基本条例に基づいた文化芸術振興策や、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機とした取り組みにより、文化芸術、スポーツの振興を推進し、自己の可能性を最大限に発揮して自分らしく豊かに暮らすための地域づくりの実現につなげます。</p>					
令和元年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 文化芸術の総合的な振興		P.54	観 光 文 化 部	
	○ 文化財の次世代への継承とまちづくりや地域振興への活用		P.54	観 光 文 化 部	
	○ 競技力向上の推進		P.55	ス ポー ツ 振 興 局	
	○ 一人一スポーツの推進		P.56	ス ポー ツ 振 興 局 外	
	○ 障害者のスポーツ活動・文化芸術活動等の充実		P.57	ス ポー ツ 振 興 局 外	
事業費	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		543 百万円		
	前年度までの事業費		一 百万円		
	本年度の事業費		543 百万円		
成果指標の達成状況	成 果 指 標	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (現況年度) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	文化財保存活用地域計画策定市町村数	0 市町村 (H30)	14 市町村 (R 4)	1 市 (R 1)	7.1
	若手指導者を育成・強化している競技団体の割合	24.4% (H30)	84.8% (R 4)	34.1% (R 1)	16.1
	(過去1年間の) スポーツ未実施率	20.3% (H30)	12.0% (R 4)	19.9% (R 1)	4.8
	障害者文化展への出展作品数	1,144 点 (H30)	1,220 点 (R 4)	1,078 点 (R 1)	△ 86.8

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
文化芸術の総合的な振興 【文化振興・文化財課】	芸術文化振興費 (46,826) 41,924 美術館費 (70,729) 67,184 考古博物館費 (12,202) 12,063 文学館費 (22,579) 19,976 博物館費 (58,921) 57,049	心豊かな県民生活及び活力ある地域社会の実現並びに県経済の活性化のため、やまなし文化フォーラム・県民文化芸術ひろばの開催などのやまなし文化芸術推進月間(11月)における事業を行い、文化芸術の振興に関する施策を推進した。県立美術館などの文化施設では、特色を十分に生かした企画展などの開催や教育普及事業の実施、展観環境及び資料保存環境の充実を図るなど、幼少期から本物の芸術・文化に触れる機会を提供した。 これにより、文化芸術の総合的な振興に寄与した。 ・「やまなし県民文化祭」 平成31年4月～令和2年2月 ・「文化芸術推進基本計画」の策定 令和2年3月 ・企画展・特別展の開催 (4館計) 9回 観覧者数 187,195人 ・教育普及事業 年間合計 661回 参加者 55,206人
文化財の次世代への継承とまちづくりや地域振興への活用 【文化振興・文化財課】	文化財保護費 (110,827) 93,806	文化財の次世代への継承とまちづくりや地域振興への活用を図るため、基本的な方向性を明確にした保存活用大綱を策定した。 これにより、地域における計画的な文化財の保存と活用の取り組みを支援した。 ・文化財行政新任職員研修会 令和元年5月 ・埋蔵文化財専門職員未配置町村情報交換会 2回 ・指定文化財を保存するための修繕等に対する助成 80件 ・「山梨県文化財保存活用大綱」の策定 令和2年3月

施 策 名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果									
競技力向上の推進 【スポーツ振興課】	体 育 振 興 費 (247,656) 229,243	<p>競技人口の増加と競技力の向上を図るため、小中学生の選手の発掘と育成を行った。</p> <p>また、若手指導者に対し、公認スポーツ指導者資格の取得を促した。</p> <p>更に、県有スポーツ施設の整備・改修に向け検討を行った。</p> <p>これにより、将来の活躍が期待される、ジュニア選手の育成と指導者の資質向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア選手の発掘・育成に関する取り組み支援 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>発掘事業</td> <td>36 競技団体</td> <td>延べ 182 回</td> </tr> <tr> <td>育成練習会</td> <td>36 競技団体</td> <td>延べ 255 回</td> </tr> </table> ・公認スポーツ指導者資格の取得支援 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>14 競技団体</td> <td>31 人</td> </tr> </table> ・他県のスポーツ施設の事例について調査 	発掘事業	36 競技団体	延べ 182 回	育成練習会	36 競技団体	延べ 255 回		14 競技団体	31 人
発掘事業	36 競技団体	延べ 182 回									
育成練習会	36 競技団体	延べ 255 回									
	14 競技団体	31 人									

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
一人一スポーツの 推進 【スポーツ振興課】 【保健体育課】	体育振興費 (17,975) 15,327	<p>若年期から高齢期までライフステージに応じた生涯スポーツを推進するため、一人一スポーツを実現する具体的方策を示したアクションプランの策定を進めるとともに、市町村や学校、民間のスポーツクラブなどと協力して、身近な地域でスポーツに参加できる機会の創出を図った。</p> <p>これにより、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一スポーツアクションプランの策定に向けた検討 ・すべての市町村において、身近なスポーツ活動への取り組みを推進する山梨県地域スポーツ推進協議会の開催 3回 ・オリンピックを活用した講演会の開催 令和元年10月 参加者 270人 ・広域スポーツセンターを設置し、総合型地域スポーツクラブの設立・運営の支援 ・やまなし総合型クラブフェスタ 令和元年11月 ・やまなしスポーツ情報ネットの運用による情報発信 ・県立高校体育施設開放事業 参加者 38,758人 ・山梨県スポーツ・レクリエーション祭の開催 令和元年5月 参加者 4,494人 ・いきいき山梨ねんりんピックの開催 令和元年9月 参加者 2,211人 ・東京オリンピック競技普及啓発イベント 令和元年11月 参加者 663人 ・目指せ！やまなしチャンピオン！事業 参加校 43校 ・もっと楽しい体育授業で体力アップ！事業 参加校 34校

施策名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
障害者のスポーツ活動・文化芸術活動等の充実 【スポーツ振興課】 【障害福祉課】	社会福祉費 (9,151) 6,084	<p>障害のある方が心豊かに生きがいをもって生活できるようにするため、障害者スポーツの普及・啓発、文化芸術活動の推進を図った。</p> <p>これにより、障害のある方がスポーツ、芸術、文化活動に参加する機会の充実が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツ指導員派遣 年間51回派遣 参加者合計 481人 ・障害者スポーツ交流教室 5回開催 参加者合計 299人 ・障害者スポーツ大会 個人競技の部、団体競技の部 参加者合計 1,508人 ・全国障害者スポーツ大会派遣選手団 41人 ・障害者スポーツ活動推進員養成研修会 受講8人 ・障害者文化展の開催 令和元年9月 出展数 1,078 作品 ・障害者芸術・文化祭の開催 令和元年9月 参加団体 61 団体